

浅水管理で初期茎数を確保 除草剤の適期散布で雑草を防除

移植

1 活着後の浅水管理 ～初期生育の確保に努めましょう～

- (1) 浅水管理（2～3cm）で田水温を高め、初期茎数の発生を促進しましょう（図1）。
- (2) 深水管理を継続すると、「イネがヒョロヒョロになる」、「藻が多発する」、「わきやすくなる」ので（写真1）、水の入れ替えや軽い田干しを行いましょう。
 ※寒い日や風の強い日は深水にし、苗を保護しましょう。

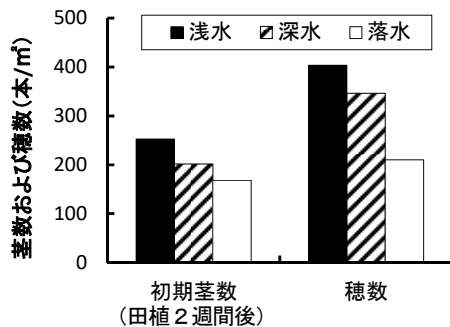


図1 初期の水管理と茎数および穂数 (H24)

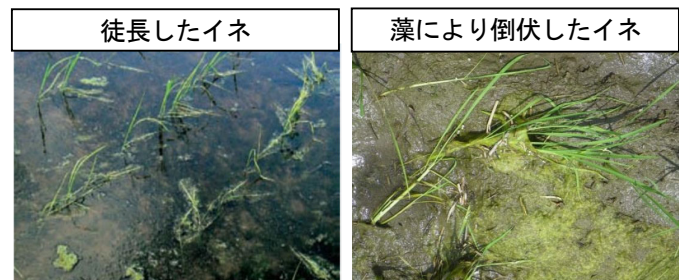


写真1 深水時のイネの状況

2 除草剤散布 ～使用基準を遵守しましょう～

【うまい米づくり情報特別号】および【営農のてびき】P.28～31を参照

- (1) 気温が高いと雑草の発生が早くなります。雑草の種類と大きさを確認し、除草剤は遅れず適期に散布しましょう。
- (2) 散布後7日間程度は湛水状態(水深5cm)を保ち、田面を露出させないで下さい。水が不足する場合は、ゆっくりと入水しましょう。
- (3) 除草剤の成分が水田外へ流出しないように、散布後7日間はかけ流しや落水を行わないで下さい。

3 溝切り ～均一な水管理に努めましょう～

- (1) 水管理の効率を高めるため、中干し前(田植後25日頃)に必ず溝切りを行いましょう。
- (2) 乾きにくい箇所に溝を設置しつつ、5mごとに溝を1本以上設置しましょう。また、排水の悪いほ場には溝を多く設置しましょう。
- (3) 溝切り後、必ず排水口に連結しましょう。

【乗用管理機による溝切りの手順】

- ① 溝切り前に2～3日程度軽く干す。
- ② ひたひた水程度に再入水して溝を切る。
 ※ほ場がかたい場合は速度をやや速め、やわらかい場合はゆっくり走る。
- ③ 旋回する際は、ハンドルを一定にする。
- ④ 排水口と溝を確実に連結する

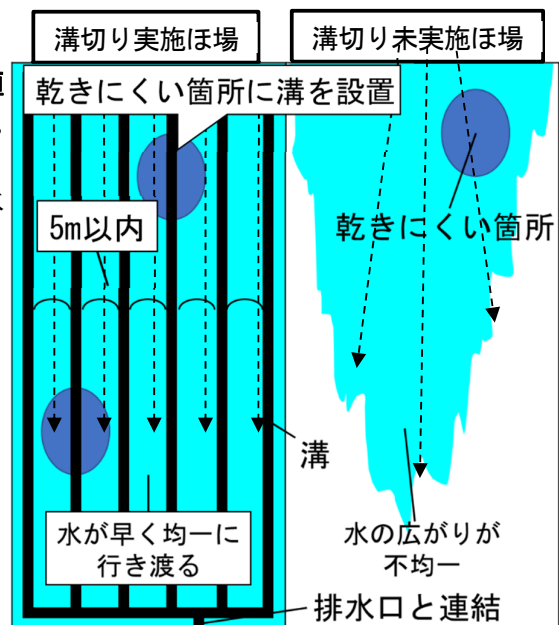


図2 溝切りのポイントと水の広がりイメージ


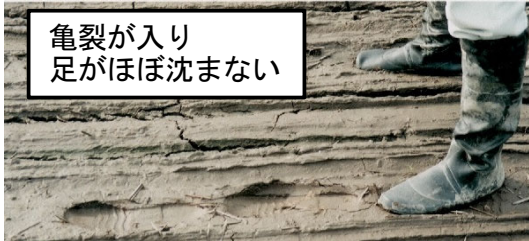

4 中干し ～過剰分けつの抑制、根の伸長促進～

- (1) 田植え後 25 日頃に溝切りを行い、そのまま中干しを開始しましょう。
- (2) 田植え後 25 日前に、茎数が目標穂数の 8 割（営農のてびき品種別栽培基準を参照）に達した場合は、速やかに、中干しを開始しましょう。

直 播

1 苗立期の水管理と除草剤散布 ～きめ細かな水管理と適期除草に努めましょう～

【うまい米づくり情報特別号】および【営農のてびき】P.32～33 参照

鉄コーティング	カルパーコーティング
<p>(1) 播種後 8 日頃から飽水管理（ひたひた水）を開始し、しっかり根を張らせ、転び苗を立ち上がらせましょう（写真 2）。 ※苗立率を高めるため、播種から 8 日間以上は湛水しない。</p>  <p>根が張ってくる →イネが立ち上がる</p> <p>写真 2 飽水管理の様子</p> <p>(2) ①苗立ちが揃ったこと、②イネが 1～1.5 葉期になったことを確認したら、入水しましょう。雑草が多い場合は、アクシズ MX 1 キロ粒剤やレブラスジャンボ等を散布しましょう。散布後 7 日間は湛水状態（水深 5 cm）を保ち、除草剤の効果を高めましょう。</p> <p>(3) その後、浅水管理で分けつの発生を促進しましょう（写真 4）。</p>	<p>(1) 田干し（播種後 5～7 日間、写真 3）後入水し、しっかりと水持ちを安定させてからプライオリティ 1 キロ粒剤を散布しましょう。散布後 7 日間は湛水状態（水深 5 cm）を保ち、除草剤の効果を高めましょう。</p>  <p>亀裂が入り 足がほぼ沈まない</p> <p>写真 3 適度な田干しのほ場</p> <p>(2) その後、浅水管理で分けつの発生を促進しましょう（写真 4）。苗立数が 10 本/m 未満の場合、軽い田干しを実施し、出芽を促しましょう。</p>  <p>写真 4 浅水管理の様子</p>

2 溝切り ～均一な水管理に努めましょう～

- (1) 水管理の効率を高めるため、**中干し前（播種後 30 日頃）に必ず溝切り**を行いましょ（表面の「3 溝切り」を参照）。

3 中干し ～過剰分けつの抑制、根の伸長促進～

- (1) コシヒカリの場合、鉄コーティングでは播種後 35～40 日頃、カルパーコーティングでは播種後 35 日頃から中干しを開始しましょう。
- (2) 上記の中干し開始目安前に、茎数が目標穂数の 8 割（営農のてびき品種別栽培基準を参照）に達した場合は、速やかに、中干しを開始しましょう。

春の農作業安全運動実施中

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261)
または 砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ



JAなんとメールマガジンの登録は、こちらから
キヤッシュを
クリックして